

事務事業名	支給物品管理事業		所属部局	総務部	単位番号	3092				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	管財契約課	課長名	樋川 純一				
			所属担当	財産管理担当	担当者名	渡辺智一				
基本政策	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	01	行財政改革の推進	事業区分	01	一般	02	01	06	030	05
施策	02	行政改革の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業	<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠	<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業						
	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			<input checked="" type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	支給物品の一括購入及び監理 (コピー用紙・色紙、封筒、ごみ袋)		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			消耗品	3,566						
			印刷製本費	1,398						
					計	4,964				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
26年度活動内容	コピー用紙と封筒を単価契約し、一括購入する。公共施設で使うごみ袋を一括購入する。	⇒	名称 単位
27年度活動予定	コピー用紙と封筒を単価契約し、一括購入する。公共施設で使うごみ袋を一括購入する。		ア コピー用紙発注件数 件
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⇒	
コピー用紙・封筒・ごみ袋		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
		名称 単位	
		ア コピー用紙 種類	
		イ 封筒 種類	
		ウ ごみ袋 種類	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)		⇒	
一括購入することで購入数を削減する		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
		名称 単位	
		ア コピー用紙購入数 千枚	
		イ 封筒の購入数 千枚	
		ウ ごみ袋の購入数 千枚	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⇒	
経費の削減		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
		名称 単位	
		ア 消耗品費 千円	
		イ 印刷製本費 千円	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	4,357	4,487	4,964	4,976	5,000	5,000		
		事業費計(A)	千円	4,357	4,487	4,964	4,976	5,000	5,000	0	
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	96	96	96	96	96	96		
		人件費計(B)	千円	437	437	437	437	437	437	0	
		(A)+(B)	千円	4,794	4,924	5,401	5,413	5,437	5,437	0	
活動指標	ア	件		89.0	80.0	80.0	80.0	80.0	480.0		
		イ	件	2.0	2.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
		ウ	件	4.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
対象指標	ア	種類		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
		イ	種類	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
		ウ	種類	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
成果指標	ア	千枚		5,341.5	26,000.0	26,000.0	26,000.0	26,000.0	26,000.0		
		イ	千枚	80.0	185.0	185.0	185.0	185.0	185.0		
		ウ	千枚	18.5	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0		
上位成果指標	ア	千円		3,128.0	3,172.0	3,566.0	3,566.0	3,566.0	3,566.0		
		イ	千円	1,229.0	2,118.0	1,398.0	1,398.0	1,398.0	1,398.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成17年に行政改革実施計画の中に位置づけられた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	単価契約は物品が限られ大幅なコスト減にはつながらない。また、市場価格に左右され、現時点では底値状態のため、これ以上の経費削減は難しい。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	単価契約品目が増やせないか検討した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	単価契約品目が増やせないか検討した。

事務事業名	支給物品管理事業	所属部	総務部	所属課	管財契約課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 無駄な経費を削減することにもなり、貢献はしている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 業務で必要な物品の購入のため、妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 コピー用紙、封筒、ゴミ袋は業務上必要なものであり、これらを一括購入することにより経費削減につながるため、継続の必要はある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 一括購入の契約品目を増やすことができれば成果の向上につながる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 一括購入で大量に発注することでコストを削減しているため、少量になった場合、高額になる可能性がある。人件費も同一業務を複数個所で行うことになる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 無駄な使用を減らすことにより、経費の削減につながる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 一元管理により人件費は削減されている
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 単価契約により行っている業務なので公平・公正である

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	まだまだ無駄な使用が多いように感じられる。使用の抑制ができないと経費の削減にはつながらない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ・無駄な使用を減らす。 ・一括購入の契約品目を増やすことを検討する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ・現状では、購入するものの管理、物品倉庫等の確保ができない。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					